

16/10/7 名古屋市議会経済水道委員会 概要（名古屋市民オンブズマン作成）

13：12-

江上 2年の繰り延べ提案

実施公告を出して 信用をなくす

主幹 検討して対抗できる

江上 弁護士がなんと言おうとおかしい

完成時期 見直すことも考えてほしい

実施説明書に書いていない

主幹 本市と協議と回答

江上 委員長に問う

議案にそぐうのか

審議対象ではない

2022年まであらためて提案せよ

委員長 それも含めてご審議を

皆さんでご議論を

田辺 口頭による申し出が齟齬がないのか

あなたご自身 それでよいということか

委員長 私がそれを判断するものではない

江上 委員会で議案審議 ふさわしいかどうかは委員長が言うこと

責任を持って言ってほしい

最初から進行役として「みんなで議論」はないのではないのか

鎌倉 過去の経験 正副委員長で仕切る

正副委員長で審議できるか検討してほしい

委員長 議事進行 若干休憩 13：22-

13：40-

委員長 完成期限 2022年めど 撤回される意向はあるか

総務課長 撤回する意志はない

議会の皆さままでご審議してほしい

委員長 議員の皆さまに審議してほしい

丹羽 昨日市長コメント 弁護士が弁護士が

アドバイスを受けた 法的リスクがあると言われたのか全くないと言われたのか

主幹 全くないとは言われていない

丹羽 どのような人たちからどのような訴訟リスクがあるのか

主幹 第三者の方から訴訟されるリスクはあると聞いた

丹羽 競合相手、訴訟される可能性がある
市はどう対抗する 勝てる 根拠は

主幹 名古屋市が恣意的に竹中を有利にする変更 リスクがある
今回 様々な審議を踏まえて時間を頂きたい
一定の整合性のある理由があるのご助言いただいた

丹羽 最終的に市に判断しないといけない
最終的に大丈夫 決断したのは誰か

主幹 市長

丹羽 市長が最終責任を負った
事業費 延びることによって減額可能性
設計を進めていく上で対応 第三者から公平透明性担保をもうけるのは

主幹 名古屋市内部組織 天守閣検討部会
今後検証する 考えていきたい

丹羽 昨日確認した 議事は重いもの
局長答弁を安易に変更
市長 一刻も早く木造に
訴えられたらどうなるのか 工事はストップしないといけないのか

主幹 ケースバイケース また専門家に相談して
ストップして係争に備える

丹羽 逆に遅くなる提案を含めたものか
絶対大丈夫なのか

所長 透明性、公平性 問題ないか
竹中は 2020 年に間に合う
大きな課題を感じ、2022 年に変える
訴訟リスクがあるとしても対応可能

丹羽 理解できない
何でここまでのリスクを抱えてやらないといけないのか
10/5 財政福祉委員会 2020 年 7 月訴訟リスク

主幹 想定 of 1 つとして検討

丹羽 10/5 財政福祉委員会 自民岩本の質問
契約担当として訴訟リスクを回避するようしていた
契約前 断っても全く問題ない
財政局 委員会で回答したことについてどう思うか

主幹 その通り

丹羽 財政局はないと言っている
前局長の答弁 白紙に戻す

名古屋市の体制 どういうことか

所長 今回のプロポーザル 中止できる条件 予算が成立しない場合、工期の遅れが確実
財政局の答弁 当たる場合は中止できる
当たらない場合は訴訟リスクがある

丹羽 基本的にはなかった
市長自らリスクがないと言っている
「石垣の安全性 熊本地震を受けて ある程度時間をかけて実施したい」
工期が遅れることを認める
明確になったときは白紙に戻す

所長 今回は市として見直した
中止できる要件にはあたらない

丹羽 弁護士は犯罪者を擁護することもある
腹に落ちない
竹中、安藤ハザマ 他に手をあげそうな業者はあったのか

主幹 参加表明書 3社から頂いた

丹羽 あるゼネコンに確認した
「2022年なら応募してたか？」→もちろん応募した
その件に関して問題はないのか

所長 私どもの考えとしては同一の条件で公募し
その後の事情で2022年
公正な条件

丹羽 私はサラリーマンだった
入札契約適正化法3条 適正化が図られないと行けない
透明性が確保されること
公正な競争がはかれること
あとから工期延ばした 官製でなんでもできる

所長 今まで承知していない
恣意的にやったのであれば問題だが、今回はそうではない

丹羽 契約していない
議会承認していない
コストが安くなるとおっしゃった
契約したら認めないといけない
なんで竹中に気を遣わないと行けないのか
発注する立場 自分自身心配となる
契約前ですよ

所長 2022年名古屋市の判断

竹中 優先交渉権者として、中止条件に当たっていない
誠実に契約にむけて法的な責務

丹羽 契約前

市民から質問 名駅 水が吹いて不祥事 あれはどこの業者か

主幹 名古屋駅 わかっていない

丹羽 知らずにこの場

竹中

名古屋市ルール 罰則規定はあったのか

主幹 確認していない

丹羽 調べておいて下さい

市民から情報が入ってくる

「名古屋市は竹中を重視する理由があるのか」

市長から来ているが、腹に全然落ちない

どうやって僕を納得させるのか

局長 法的責務

今回の見直しは優先交渉権者の地位の範囲内

丹羽 今の局長の答弁 全く信用できない

こんな名古屋市に誰がした

木下 河村市長 6月議会で「耳を傾ける」

9月議会 がらっと変わってしまった

弁護士 「法的に問題がなく第三者へ対応可能」

竹中工務店

根源は弁護士の見解

何が法的に問題なのか

全く分からない

何がどう問題がないのか

片つかない

資料がほしい

法的に問題がないとはどういうことか

「こういう理屈」出してもらいたい

委員長 当局、資料は出せるのか

主幹 すぐ準備させていただく

最終的に判断したのは名古屋市

前回の資料 9/21 完成期限の延長

2年延長 資料として出したい

木下 出せばよいというものではない
分かるように 根拠を
弁護士 いろんな見解がある
弁護士だからといって信頼できない
今日だっていたでしょ？
法的に問題がない資料を出して

田辺 弁護士が言えばなんでもOKか？そんなことはない
最終的には裁判所
判例を持ってくるべき
法の見解 裁判で勝ち負けなどでない

主幹 検討したい
いくつかは判例があるが、ダイレクトのものがあるか

江上 9/21 資料 ますますわからなくなった
見解3 優先交渉権者の責めに帰すものではない
見解1 プロポーザルの前提が変わるので
随意契約する理由
見解2 延長を本市側から提案すると、第三者から公正ではないと指摘を受ける可能性

市から提案リスクが大きいので、議会からの提案が望ましい
市長は1人の弁護士の見解のみ
市長の表現はおかしい

主幹 2020年7月 内容を変えない条件
今回2年延長 様々な審議を踏まえ内容を膨らませている
2年の理由がある
弁護士 見解2 様々な審議を加味し名古屋市として判断
名古屋市として確認したところ問題ない、対抗できるとご助言いただいた

江上 見解1の方は

主幹 直接は尋ねていない もともとなかなか難しい

江上 足下で「弁護士からおかしい」
昨日の市長のコメントは信頼できない

田辺 2022年 一晩考え、市議団で議論
賛成・反対横に置いて、
恥ずかしくないのか やめた方がいい
政治に対してシビアなものの見方
まるで豊洲の市場のようだ

盛り土ではなかったのか、地下空間？
あれっ？オリパラではなかったのか
どのような過程で 2022 年になったのか
だれも責めを負わないのか
豊洲 議会にも虚偽の説明
どのようなプロセスで変わったのか、誰と誰との話し合いで
竹中との随意契約としようとしたのか
議会が聞かなかつたから悪い
豊洲 豊洲の地下空間 利権があつたのでは？不正があつたのでは？
不透明・不公正 いらぬ嫌疑がかけられる
法的に問題があるかないか
市民にとって 透明・公正 重要である
ないと思うが、慎重かつ正々堂々としてほしい
前提条件 議案 当初 2020 年 7 月 設計費用のこと
事業全体の収支の問題、観光その他債 40 年税金の投入の是非
入場料市外 1000 円の是非
総合的に判断すべきと思うがどうか

主幹 おっしゃるとおり

田辺 2020 年 大きなファクター
1 事業者 財源問題 財源スキーム
全く関係のない話
文化庁 竹中の責めに帰すものではない
問題は全く解決していないと思うが、

部長 議会から様々な指摘 設計の中でやっていく

田辺 昨年の話 ブレーキを踏むことは大変困難
設計を認めた場合、工事を認めないのは無理
入場料改正 相当先の話
設計の途中 あなた方の理由
議会とは関係がない
2022 年が全てではない

竹中がいうはずがないが、自分たちの事業のためにすべてを差し置いてやれというわけではない

「議会とも手を携えて」

局長 確かにその通り

部長が答弁 検討を重ねて 総事業費が決まらない中で進まなかつた
予算を認めて以降検討しないといけない

田辺 2022年 何ら問題がないという見解
2022年過程 どの程度公開されたのか
我々は昨日の新聞報道、市長の話
3ヶ月間 2022年検討検証 いかほどされたのか

所長 6月市会 「2026.27を目指す」と検討
9月市会 2020年7月
以降、昨日の表明に至るまで検討するなかで市長が発言した

田辺 都政と一緒に ブラックボックス
今となっては全く分からない
議事録は残っているか？第三者は加わったのか？

所長 市長と当局だけ

田辺 あなたがたのためのあなたがただけの議論
議会としては慎重にならざるを得ない

所長 予算認めるのは進める第一歩

田辺 豊洲と一緒に どんどん変えてくる
議会も市民も置き去り
6/24資料 天守閣の関心時期の遵守
締結前 時期は技術提案交渉方式の前提
遅れが確実になった場合、期日を変更するのは法令に違反する可能性
本市と協議する可能性がある 法律の専門家と相談
優先交渉権者という立場が本市と協議することができる
あなた方が勝手に変えるとは想定していない
基本設計締結後、天守閣 協議をすることとする
今は締結前 差違は何があるのか

主幹 現在は締結前
なお以降記載 協議することができる

田辺 そういうことを聞いていない

所長 6月資料 もともとの2020年7月 遅れが確実になった場合
今回は名古屋市の判断 2022年に遅らせる
今回は可能であると判断

田辺 6月の資料と違うのではないか
締結後であれば
前なのに優先交渉権者の責めに帰さないのに完成時期を変更しようとしている

所長 考え方は変わっていない

田辺 変わっているじゃないか

所長 今回はそうではない

われわれが状況を踏まえて名古屋市として変える

委員長 再度のご答弁を

所長 …、

田辺 「本市の都合」違いにどう入ってきたのかわからない
文書でいただけないか

所長 提出する

田辺 本市が考えを変えれば何でもできる
やめた方がいい 恥ずかしい 恥を知った方がよい
2022年である理由 説明する責任がある
あなた方にも説明する責任がある
市民報告会 大枚はたいて実施した
2020年7月末 すでに公報なごやも含めてすり込んだ後、どう説明していくのか

所長 昨日の市長発言 2022年に見直したい
お認め頂いたらいろんな広報媒体で進めていく方針 説明していきたい

田辺 どのくらいの予算でどういったものか

所長 現時点では詳細な計画はできていない

田辺 人を食った言い方
5会場 市民報告会
みんな2020年ですり込まれた
どのくらいの責任感
広報媒体はあたりまえ
2022年変更の重みを感じていない

局長 2020年7月で推進
説明責任を果たすべく努力していかないと行けない
詳細なものを市民に説明しないといけない

田辺 密室で決めたという説明
やることがちぐはぐ
本音をいうと 実施説明書を訂正するのは唐突
どこで2022年になったのか？
どのように帳尻をあわせるのか

主幹 予算を認めて頂いた後、基本協定書を結ぶ
変更する

田辺 決める前提条件
こうしますああします ではない
議会が認めなくても市長は2022年と言った

主幹 基本設計等の予算の中身 大きく変更するものではない

11月等でお願いすることになる

田辺 今後竹中と調整

今は調整していない

石垣等の調査 つけていく

聞いていることはそういうことではない

認める、継続、否決 選択肢

なすべきこととして豊洲のようになっている どう市民に説明するのか

今からでもできる

所長 昨日市長が表明

こういう計画で進めたいとお願いしている

このままの計画で進めていく段階で説明していきたい

田辺 こんなもの我々に見せずに作った

予算が認められる前 あなた方の手続き

2020→2022年に変わった 予算成立とは関係がないこと

責任感の話

局長 腹のくくり具合

市長「議会と手を携えながら」

今回 手続きを踏んで実施していきたい

田辺 クリンチされても困る

丹羽 「必須項目」 理解が違う

必須項目とは何か、どういう位置づけか

主幹 説明書 必須項目をうたっている

施設計画、工期、木材

充足している場合

充足していなければ失格

丹羽 3/15 議事録 宮村局長 必須条件

「2020年7月に間に合わないと明らかになった場合、白紙に戻す」

宮村さんに確認してほしい

主幹 間違いない

丹羽 確認してほしい

主幹 確認する

丹羽 明らかに必須項目が変わった

なぜ変わったのか腹に落ちない 書面を出してほしい

主幹 出す

丹羽 市長 時間がかかった

2年延長 意見を言った職員がいるのかどうか

主幹 関係局と議論をした

丹羽 問題がある、諫言した職員がいるのか

主幹 問題点を指摘した人はいる

丹羽 議員でもすごく議論している

もっと真剣に取り組んでもらいたい

田辺 2022年 変更の重要さ

他にも聞きたい 新国立の二の舞 心配にしていた

ラグビーワールドカップに間に合わせるのが最優先 国際協約

現在完全なリスタート

2022年 市長から口から出た瞬間「2020年でなくてもよかった」

あなたがたにとってマストではなかった

主幹 2020年は空前のチャンス

真摯に受け止めて2年延ばした

田辺 なにも変わらない

大騒ぎはなんだったのか

2020年 今となってはどうでもよかったこと

2022年 同じ

2020年7月 スケジュールを出した

2022年 どういうスケジュールか

いつできあがるのか

パターンABC

委員長 当局資料出せるか

主幹 工程 詳細な検討が必要

市としての想定スケジュール 資料として出したい

田辺 2022年ではない竣工スケジュールは出るのか

主幹 2022年以外は出せない

田辺 竹中の責めに帰さない場合は工期延長可

主幹 責めに帰さない場合は学識者と検討

田辺 文化庁 審査会 経験値持っているでしょう？

都合が悪いわけ？

所長 スケジュールには文化庁の許可を含めた検討をしている

不確定要素 あらゆることがある

2022年7月のスケジュールを念頭

田辺 だめだ

天変地異を予想しろとはっていない
文化庁の審査 1回、2回、3回
回避できないものを正直に出してほしい
局長 経験値を含めてスケジュールを出す
パターン化してということであれば検討が必要
文化庁の審査 本丸御殿
2022年7月で出してほしい

委員長 暫時休憩してはどうか
取り扱い
再開のめどは追って連絡 14:57-

16/10/7 名古屋市議会経済水道委員会 概要 (名古屋市民オンブズマン作成)
15:27-

鎌倉 竹中の回答 役職のクラスは？
主幹 支店長
鎌倉 市長表明 2年先に延ばす
竹中から問い合わせがあったか
主幹 ない
鎌倉 進め方の考え方が一転二転
市民に耳を傾ける
工期について問題がある
法的整備を含めて 最終的には行政の方から議案を取り下げるではなく2年延ばす
竹中 民間企業
公募して適正な手順で認められた
是か非か別にして議会として結論出さないと
早めに知らせないと行けない
所長 昨日2022年7月 私たちの方から報告した
見直しについてやれますか？ 対応して努力するとコメント
鎌倉 市民に分かりにくくなった
昨日が最終判断か
所長 それを前提に設計
この計画で進めていく
鎌倉 第三者がいるところの議論 早めに結論を
塚本 コメント 竹中 「遅れが生じることも」気になる

市側 意図的に工期を変えられる状況にあるのか
文化庁の審査 完成時期明確
市役所側 完成時期を変えられるのか
主幹 名古屋市から意図的に変更はできない

田辺 主張の正当性検証
仲間内で「大丈夫」ではない
国土交通省が作った制度 確認したのか
財政局は慎重な疑義を持っているよう
公正取引委員会に問い合わせたのか
第三者機関に確認をとったか

主幹 国土交通省中部地方整備局から技術提案交渉方式 立ち位置について問い合わせ中

田辺 随意契約をする とった上で決定したわけではない
今回の決定には反映されていないでよいか
完全に身内で決めたでよいか

主幹 名古屋市として判断した

丹羽 資料はどうなったか

委員長 暫時休憩

再開のめどはたっていない

15 : 37-

21 : 28-

総務課長 資料要求の件

弁護士に確認するため申し訳ないですが今しばらくお待ちいただきたい

委員長 10/11 (火) にも審査したいと議長に申し入れしたい

特にないようなので暫時休憩 21 : 29-

22 : 03

委員長 議運が開かれ、10/11 (火) 午前 10 時から 4 件審査すると決定

22 : 03 散会